

AdBlue® Schatz NEWS

AdBlue®はドイツ自動車工業会(VDA)の登録商標です。 Registered trademark of the Verband der Automobilindustrie e.V.(VDA)

Schatz

グループの供給可能エリアが拡大していきます！

2023年度中に新たに6プラントが稼働

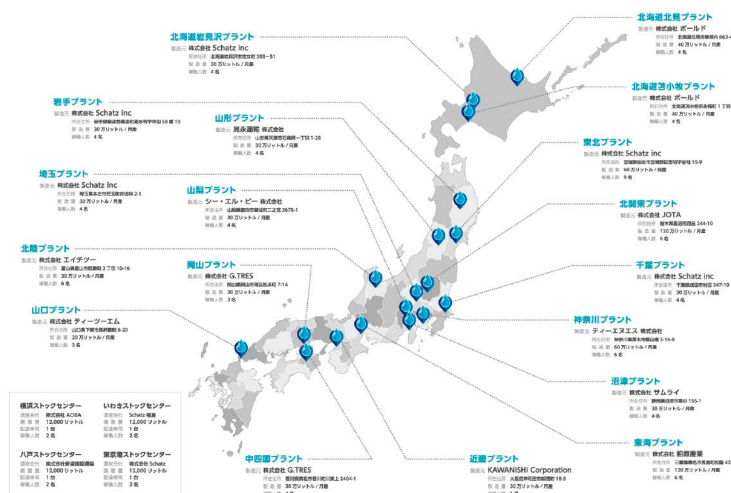
山梨(11月)・岩手(12月)・埼玉(12月)・苫小牧(1月)・岡山(1月)・北見(2月)

全国18プラントがVDAの監査を受けてAdBlue®事業を進めていきます。

Schatzの理念は製造工場から半径150kmでのユーザーカバーを実施し絶対にお客様のAdBlue®を切らさない！ということ念頭に事業を進めています。

Schatzは、

製造者が直接お客様のヤード環境を整備し1台の故障も起こさない管理を目指します。



【尿素市況】10月の輸入価格は反落、中国禁輸懸念が後退

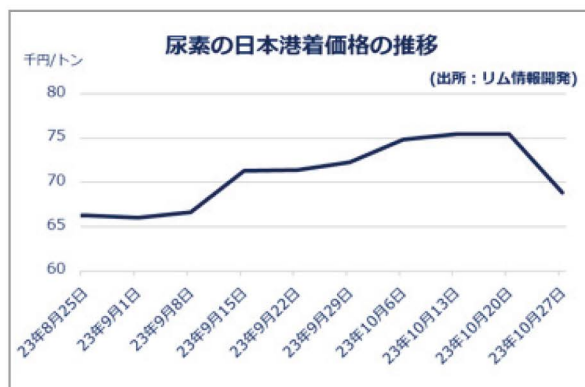
輸入尿素価格は10月に入り続伸したあと下落に転じた。リム情報開発の調べでは、円建て日本着(CIF)価格は27日時点でトンあたり約68,800円と、9月26日時点から2,500円ほど下がった。

中国が国内への肥料供給を確保するため、輸出規制の強化に動いた。主要輸入先である中国からの供給不安がにわかに台頭、10月中旬にかけて価格が押し上げられた。

また、ドル円相場が10月に入り急激にドル高円安方向に進行した。これが円建て相場を押し上げる要因として作用し、尿素輸入価格は20日までに75,400円台まで切り上がった。

ところが、10月下旬に反落した。中国の日本向けの輸出が月を通して止まらなかった。加えて、中国規制当局が止めようとしたとされるインド向けの出荷も続いた。こうしたことを受け、中国からの供給懸念がやや後退し相場が軟化に向かった。

(リム情報開発の週刊『クリーンエネルギー』記事を編集加工)



脱硝用の尿素水とは？

AdBlue®は「高品位尿素水」とも言われ、ディーゼルエンジン車に搭載される「尿素SCRシステム」に使用し、排ガスをクリーンにする為の液体です。

同じく、「排ガスをクリーンにする」という目的で尿素水が使われているのをご存じでしょうか？

身近な排ガスでは、ゴミ焼却炉の排ガスにも、実は尿素水が使われているのです。

ゴミ焼却炉や大きな工場、各種発電所で発生する排ガスにも排ガス規制があり、それをクリアする為に大量の尿素水が必要となっています。

一般的にはディーゼルエンジン用の尿素水(=AdBlue®)よりは品質要件は緩く、濃度も40.0w/w%を使用する脱硝設備が多いです。

シャツグループでは、ディーゼルエンジン用の尿素水(=AdBlue®)をメインとしながらも、脱硝用尿素水の製造も可能です。

脱硝用尿素水の納入事例も多く、全国の工場より納入体制が整っている為、安心してお使い頂けます。

脱硝用尿素水のお問い合わせも是非、お近くのシャツグループまでお問い合わせください。

(記事：株式会社エイチツー)



WASTE POWER STATION